〔油彩画〕 還（かん）（F150号・アクリル） 川上 久光（高25）

伊那谷の農村部では、夜のかすかな光や草木のわずかな臭いなど弱音が、豊かな詩情を与えてくれる。そして昔ながらの神事や土着信仰が無意識的に生活を支える。この山里の自然や生活の印象を形に起こしたいと願う。

〔書〕 曠達（こうたつ）

千葉 帰鳥（きちょう）（隆一 高33）

願わくば雑念に振り回されずどっしりとしていたいものです。「曠達」とは、心が広くものごとにこだわらないことを言いますが、今回この言葉に向かい筆を走らせた時、仕上がり具合に拘泥したことを白状しておきます。

飯田高校同窓会報
第 87 号
発行人
395-0004 飯田市上郷黒田450
長野県飯田高等学校同窓会長
大田中 峰雄
編集委員長
平沢 忠明
印刷所
㈱南信州新聞社

同窓会事務局
TEL 0265(23)2650
FAX 0265(52)3392
http://www.iikou-d.jp/
E-mail:ikdj@iikou-d.jp

同窓会の役割を思う

副会長 岡田 寿久（高23）

コロナ禍で日常が一変してから3年目となります。自粛と緩和が繰り返される中で、今年も「山笑い」そして「山滴る」季節が巡ってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。一日も早く平穏な日々が訪れることを願うばかりです。

さて、昨年はラグビー班が全国大会の1回戦で富山第一に快勝、2回戦では目黒学園に敗れはしましたが、出場校中最少の選手17人で死力を尽くして戦ってくれました。「質実剛健」の伝統は受け継がれております。

我々同窓会もコロナ禍という制約はありましたが、『花園』ではサポーターとしての役割を果たすことができました。これからも必要に応じて物心両面で母校を支えていくことができればと思います。

同窓会、とりわけ高校の同窓会は、どんなに時が経とうとも若き日を同じ学び舎で過ごした同窓生が集い、相互の交友を深める中で母校の発展を願い応援する場であります。

たとえ卒業年次が異なっていようとも、母校を愛する気持ちを共有できる場であります。私自身、仕事が現役のうちはなかなか参加しにくいものでしたが、リタイアが近づくにしたがって母校愛は自然と強く湧き上がってまいりました。

皆様にも、風越山の母なる自然のぬくもりの中で過ごした学窓の3年間を思い起こしていただき、母校の発展に向けて同窓会への積極的なご参加をお願いするものです。

飯田高校が全ての卒業生にとりまして、掛け替えのない青春の日の思い出の場となりますことを、併せて皆様のご活躍、ご多幸を祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

ポストコロナに向けて日常を取り戻す総会に

定期総会当番

高25回生実行委員長 下平喜隆

1882年6月に郡立下伊那郡中学校として設立された飯田高校も、36年後の1918年5月にスペイン風邪と呼ばれるパンデミックに襲われました。それから約百年後の2020年3月には新型コロナウイルスが日本中に蔓延しました。前回の災禍は3年で収束したようです。

今年こそは、日常を取り戻し、明るく活力溢れ、若者たちの笑顔輝く飯田下伊那の復活する年としなくてはなりません。幸いにもこの伊那谷には近い将来、リニア中央新幹線の開業、三遠南信道の開通と巨大プロジェクトが満載です。まさに、千年以上前に東山道が伊那谷を通過して以来の千載一遇のチャンスがやってきます。

校歌に「都の塵も通ひこぬ」と歌い込まれている歌詞と、未来の伊那谷の現実とが見事なパラドックスを描くことを夢見て、私たち25回生は令和4年度同窓会定期総会の実行委員を務めさせていただきます。参加者限定ではありますが、ポストコロナに向けて日常を取り戻す充実した定期総会としたいと思います。ご協力をお願い申しあげます。

令和4年度 定期総会

1. 日　　時　令和4年6月11日(土)　開会13時30分
2. 会　　場　シルクホテル <2F錦繍の間>
   飯田市錦町1-10　TEL 0265-23-8383(代)
3. 議　　題　令和3年度事業･決算報告、令和4年度事業･予算案
4. 記念講演　講師 後藤 拓磨 さん(高25)
   演題 「始まりは、母校の壁の落書きだった」
5. 高松賞表彰
6. オンラインミニコンサート　飯田高校邦楽班演奏

限定配信 QRコード

※1コロナ感染防止のため規模縮小・参加者限定にて実施
※2一般会員の皆様には YouTube 限定 Live 配信します。
右の QR コードを読み取るか、配信 URL を入力してください。
配信 URL　https://youtu.be/78X0-HR0SzQ

お問い合せ先　同窓会事務局 TEL0265-23-2650 FAX0265-52-3392

嵐青

「郷立飯田大学」。多くの若者が生まれ育った郷里で自宅から通いながら学べる大学。全郡民の自発的、自律的な意志によって創設される大学。松川町生田出身の宮澤芳重さん（1898～1970）の構想した大学です▼雨が降ると中で傘を差す家に住み、ごみ箱からあさったパンの耳を食べるのが日常だったという芳重さん。ニコヨンと呼ばれた日雇い労働者として得た賃金（日給240円）を、全て大学創設の前段階として、飯田高校へ天文台設置資金、飯田図書館へ書籍の寄贈を続けました▼今、その夢が実現するかどうか正念場を迎えています。信州大学が開設を検討している新学部の誘致に、機敏に名乗りを上げた佐藤健飯田市長（高38）が先頭に立ち、官民一体で進めている誘致活動の行方です▼芳重さんの目指したのは医学部、理学部、文学部などがある総合大学でした。そこまではいかなくとも、全郡市民の熱意ある活動で、当地域の悲願である四年制大学を実現したいものです。（平忠）

財政見直しを決定

入学時の維持会費を5年延長、会費未納会員への11月号発送を取り止め4ページに

財務委員長　**長谷部和宣**（高22）

同窓会の財務状況は大変厳しい状況にあります。その主な要因は、①同窓会費納入率の低下による収入減、②生徒数の減少による収入減、③郵送費などの経費の増加による支出の増加、です。

同窓会費の納入率は平成24年の44・7％から年々低下しており、令和3年度は36％程度になる見込みで、平成24年比で約2250万円の収入減となります。また令和3年度の新入生は240名で、平成24年の310名から70名減となっており、これも平成24年比で70万円の収入減となります。財務委員会では以前よりこれらの原因で同窓会の財務状況が厳しくなることを予測し、同窓会費の納入率向上に取り組んできました。多くの方に協力をいただきましたが、残念ならが全体では今も納入率は低下傾向にあります。

昨年度、財務委員会では同窓会の財務状況について20年先まで試算を行い、結果を正副会長会・常任役員会で報告を行いました。試算結果では、令和元年度で既に支出超過になっていること、同窓会費納入率向上活動を継続していくものの納入率低下に歯止めがかからないこと、生徒数の減少は今後も想定されることなどから、現状の同窓会事業をこのまま継続するのは困難だと分かりました。そして同窓会費の納入率向上施策の強化と合わせ、事業の見直し改革が必要であるとの結論に達しました。

同窓会費の納入率向上については、入学時に在校生維持会費を10年分納入いただいていたものを、15年に延長することとしました。本来、同窓会の事業運営は同窓生の皆様のご好意でいただいた同窓会費で行われるべきと思いますが、幸いにも父母会のご理解をいただきました。これにより同窓会費は約120万円の増収となります。

事業の見直し改革については、事業費の多くを占める会報について発行費削減を行うこととにしました。現在会報は5月と11月の2回発行して、原則として同窓生全員に郵送しています。改革案として11月発行については同窓会費未納の会員には発送を止めることとします。併せて、11月発行は8ページから4ページのシンプルなものとして費用を抑えることとしました。これにより会報発行費用は約45万円の削減が可能になります。

改革案については1月の常任役員会に報告し、承認され実施されることになりました。

しかし試算では、この改革による事業運営が可能なのは2030年頃までであり、更なる同窓会費納入率向上施策の強化および事業改革の継続が必要であることは言うまでもありません。

着任ご挨拶

新校長　**駒瀬　隆**（高33）

この度、飯田高等学校勤務を命ぜられ、着任致しました。

本校卒業から41年、懐かしさを感じるとともに、校長の重責に身が引き締まる思いです。これまで培われてきた歴史と伝統を継承し、本校の更なる発展のために尽力して参りますので、同窓会の皆様方のご支援をよろしくお願い致します。

定期総会記念講演

『始まりは、母校の壁の落書きだった』

講師　歴史作家　**後藤　拓磨**さん（高25）

「連帯を求めて孤立を恐れず」という壁の落書きが飯田高校の旧校舎本館の、階段踊り場にあった。1970年春、入学したばかりの１年生がいぶかり、ふり仰ぐ。

時は流れる。25歳になった男は大阪で長い小説を書いていた。10年前の全共闘世代を作中に登場させたい。参考資料として東大安田講堂の「壁の落書き集」を買う。最後のページで目が点になる。同じ落書きが69年、攻防戦の安田講堂にあったのだ。

一体、誰の言葉か？　落書きの解読を通じて出会った後藤総一郎（明治大学教授、高4）がやがて男にいう。「拓磨、伊那谷の右翼の歴史を書け」と。

それは長く禁断とされた三遠南信の秘史だ。

【講師略歴】

南信州新聞記者などを経て現在、歴史作家。著書に『潮騒の伊那谷－新たな古代史の旅が始まる』がある。長年、浜松市主催「三遠南信文化交流講座」講師を務めるほか、「巨大断層・聖なる地－未知のエネルギーを求める旅」などの長期連載がある。

オープン講演会　市長がオンラインで

今年度のオープン講演会は3月17日、佐藤健飯田市長（高38）を講師に迎えオンラインで開催。「リニア時代をどう生きるか－まちの未来・君の未来」と題した講演の前半では、自らの高校生時代を振り返り、「苦しさから逃げない、好きなもの・なりたいものを大切に」そして「ふるさとを語れる人に」などと反省からの教訓として生徒に語りかけられた。

後半では、リニア時代を迎える飯田市の長年にわたる環境文化都市としての取り組みの他、知的集積地として伊那谷が世界のリニアバレーへという将来構想とともに、先人が築いた暮らしの豊かさ・地域らしさも大切にと、リニア時代の生き方への様々な示唆を与えていただいた講演会であった。

会場は各教室で

社会貢献委員長　下平　薫（高19）

同好会だより

赤石ゴルフクラブ

第10回コンペが昨年10月20日、阿智村のあららぎカントリークラブで行われ、木下雄一さん（高23）が優勝、中島杯（中島清第16代同窓会長寄贈）を手にしました。

今年度はコロナ感染症の影響で「同窓・同好」の参加者が55人と少なくなりましたが、前日までの雨も上がり、秋の好天に恵まれた一日となり、和やかな雰囲気のなかゴルフ談議などに花を咲かせ親睦を深めました。また「（母校への）財務支援」で参加費の一部と参加賞の図書券を母校に寄贈しました。

次回第11回コンペは令和4年10月20日㈭、高森カントリークラブを予定しています。

赤石ゴルフクラブ幹事　長谷部和宣（高22）

優勝した木下雄一さん（高23・左）

第16回　ユリノキ会のご案内

開催日　令和4年11月12日㈯13時30分～16時30分
受付開始　13時から
会　場　飯田高校　大会議室
講　師　宮下 宏子さん（高23）
演　題　「全身のバランスを大切に
～日々、健やかに過ごす、歯科医からの提案～」
13時40分～15時10分

歯は全身の健康に深く関わっています。首・肩こり、頭痛等の不具合にどう対応するか、歯科からのアプローチについてお話します。

オンライン講演会となることもあります。

アトラクション　飯田高校　空手班（南館2階　柔道場）
15時20分～15時40分

懇親会（茶話会：同窓会事務室）
15時50分～16時30分

【講師略歴】

神奈川歯科大卒。1985年から飯田市羽場町に宮下歯科医院を開業。趣味はお茶、卓球、スキー、山登りを楽しんでいます。

令和４年度一般会計収支予算書（案）

令和4年4月1日～令和5年3月31日

収入合計額　17,145,747円
支出合計額　17,145,747円
差引残高　0円

【収入の部】（単位：円）

科目	本年度予算Ⓐ	前年度予算Ⓑ	増・減Ⓐ－Ⓑ
繰越金	2,636,247	2,748,250	△ 112,003
入会金	364,500	366,000	△ 1,500
維持会費	8,000,000	8,300,000	△ 300,000
会費前受	1,800,000	1,800,000	0
在校生維持会費	3,645,000	2,440,000	1,205,000
会報広告費	600,000	800,000	△ 200,000
雑収入	100,000	100,000	0
合計	17,145,747	16,554,250	591,497

【支出の部】（単位：円）

科目	本年度予算Ⓐ	前年度予算Ⓑ	増・減Ⓐ－Ⓑ
総務費	**6,260,000**	**6,370,000**	**△ 110,000**
人件費	3,200,000	3,200,000	0
事務消耗品費	750,000	750,000	0
水道光熱費	100,000	100,000	0
慶弔費	50,000	50,000	0
総会費	510,000	500,000	10,000
役員会費	50,000	50,000	0
委員会費	50,000	50,000	0
通信費	350,000	370,000	△ 20,000
印刷費	800,000	800,000	0
旅費交通費	150,000	150,000	0
振替手数料	50,000	50,000	0
雑費	200,000	300,000	△ 100,000
事業費	**5,270,000**	**5,500,000**	**△ 230,000**
支部祝儀費	400,000	400,000	0
会報発行費	3,250,000	3,700,000	△ 450,000
CD製作費	370,000	0	370,000
諸会合会費	200,000	400,000	△ 200,000
OA化諸費	750,000	650,000	100,000
生徒褒賞費	250,000	250,000	0
事業推進費	50,000	100,000	△ 50,000
クラブ助成費	729,000	732,000	△ 3,000
会費前受積立	1,800,000	1,800,000	0
在校生会費前受積立	2,916,000	1,708,000	1,208,000
予備費	170,747	444,250	△ 273,503
合計	17,145,747	16,554,250	591,497

令和３年度一般会計収支決算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

収入合計額　16,560,158円
支出合計額　13,923,911円
差引残高　2,636,247円

【収入の部】（単位：円）

科目	本年度予算Ⓐ	決算額Ⓑ	差異Ⓑ－Ⓐ
繰越金	2,748,250	2,748,250	0
入会金	366,000	366,000	0
維持会費	8,300,000	7,927,774	△ 372,226
会費前受	1,800,000	1,694,800	△ 105,200
在校生維持会費	2,440,000	2,440,000	0
会報広告費	800,000	850,000	50,000
雑収入	100,000	533,334	433,334
合計	16,554,250	16,560,158	5,908

【支出の部】（単位：円）

科目	本年度予算Ⓐ	決算額Ⓑ	差異Ⓑ－Ⓐ
総務費	**6,370,000**	**5,218,667**	**△ 1,151,333**
人件費	3,200,000	2,947,230	△ 252,770
事務消耗品費	750,000	503,895	△ 246,105
水道光熱費	100,000	70,825	△ 29,175
慶弔費	50,000	47,400	△ 2,600
総会費	500,000	505,720	5,720
役員会費	50,000	18,352	△ 31,648
委員会費	50,000	15,768	△ 34,232
通信費	370,000	236,106	△ 133,894
印刷費	800,000	670,657	△ 129,343
旅費交通費	150,000	0	△ 150,000
振替手数料	50,000	17,332	△ 32,668
雑費	300,000	185,382	△ 114,618
事業費	**5,500,000**	**4,565,244**	**△ 934,756**
支部祝儀費	400,000	10,000	△ 390,000
会報発行費	3,700,000	3,626,870	△ 73,130
諸会合会費	400,000	0	△ 400,000
OA化諸費	650,000	798,374	148,374
生徒褒賞費	250,000	130,000	△ 120,000
事業推進費	100,000	0	△ 100,000
クラブ助成費	732,000	732,000	0
会費前受積立	1,800,000	1,700,000	△ 100,000
在校生会費前受積立	1,708,000	1,708,000	0
予備費	444,250	0	△ 444,250
合計	16,554,250	13,923,911	△ 2,630,339

同窓生 交歓のひろば

シナリオの世界に生きて

田口　成光（高14）

おおよそテレビ・ラジオで放送されているニュース、ドラマ、音楽、バラエティーすべての番組に台本があります。それらの台本を著作する仕事を脚本家もしくは構成作家と呼びます。小生もその一人です。

ところで一体何故この仕事を選んだのか改めて振り返ってみると、小学生の頃から本を親しむ子どもではありました。高校生の頃は映画全盛時代、飯田市には常盤、銀星、中劇、日活など映画館が4館もありました。こうした時代背景に刺激されて日本大学芸術学部映画学科に進学して業界への第一歩を踏み出しました。

しかしここから先は人生訓ではありませんが人との巡り会いと仕事に対する情熱以外の何ものでもないと思います。小生の場合、縁あってゴジラやウルトラマンを生んだ円谷プロダクションに入社したことや、その後巡り会ったプロデューサー諸氏に支えられたことではないでしょうか。というところまでが人との巡り会い。で仕事への情熱というのは、生活のためでもありますが、年中締め切りに追いかけられながら冷や汗流しながら歯を食いしばって、よくぞ走り抜けて来た自分を支えてくれたエネルギーではなかろうかと鑑みる次第であります。（大笑い）

「メトロン星人」といっしょに

筆者紹介

日本大学芸術学部映画科卒。円谷プロダクション勤務後、フリーの脚本家として活動。東京都在住。

出会い―講談を語って

折井　亮夫（高15）

横浜で大学生活を過ごした後、昭和45年から大阪の府立高校に勤務しました。初任校は花園ラグビー場の近く、後輩たちが花園出場を果たすと嬉しくてラクビー場へ駆けつけました。

同窓会にて熱演

職場を転勤して、平成2年、47歳のときに同僚から講談の魅力を教えられ虜になりましたが、その半年後、体調異変が生じ、検査の結果脊髄腫瘍と診断され、手術しなければ余命2年との宣告。止むなく手術を受けると、両手両足麻痺の身体障害者となりましたが、その不自由な身体状況で退職までの13年間、なんとか教職生活を全うしました。

その間、「講談」を味方につけました。生物の教師ですから、それまでは野外活動を中心に生活が廻っていましたが、不自由な身体では、登山だ、スキーだ、キャンプだ、野鳥観察などの野外活動はできません。茫然となるところですが、口だけは達者に動くから講談道場で講談を学び、これを機に、歌舞伎、文楽、落語、浪曲、など古典芸能や、さらにはハーモニカ等をマスターしようと、文系へと方向転換。メインは講談ですが、落語や文楽の仲間達とも親しくなりました。飯田では「ふる里講談会」の仲間に入れて貰ったり、同窓会関西支部や15期生のイチゴ会首都圏支部の会議にも出かけ講談を披露させて貰いました。

現在は車椅子生活ですが、年をとっても明るく明るく生きています。

筆者紹介

横浜市立大学卒、大阪の府立高校勤務後、講談を続けている。奈良県生駒市在住。

昔ばなしを語る

坂井　弘子（旧姓　水野　高25）

私にとっての昔ばなしの原点は、幼い頃に祖母が語ってくれた話だ。テレビもなかった時代、夕飯が済むと決まって祖父母の居た三畳間に行き、炬燵と壁との隙間にすべり込んで、祖母の話を聞くのが何よりの楽しみだった。桃太郎や花咲か爺さんから落語の寿限無、がま蛙の祟り話まで、何度聞いても飽きなかった。文字が読めるようになると本の世界に没頭して昔ばなしからは遠退いたが、私の芯の部分として残っていたようだ。いつしか私も、祖母のように語りを楽しむようになった。

今住んでいる青木村にも、周りの山々にまつわる話、温泉の由来話、弘法大師伝説など、多くの昔ばなしが残っている。峠一つ越えれば塩田平。松谷みよ子の創作童話『龍の子太郎』の原話「小泉小太郎」伝説も伝わる民話の宝庫だ。

これまで保育園・小中学校・公民館・高齢者施設などで月に3～4回語ってきたが、コロナ禍の中では出番も減っている。昔ばなしに託された先人の知恵や想いを学びつつ、これからも丁寧に語り継いでいきたい。

熱心に聴く子どもたち

筆者紹介

信州大学教育学部卒。伊賀良小学校など県下各地の小学校に勤務。塩田平民話研究所で活動。青木村在住。

編集者として30年

大嶋　みどり（旧姓　茂木立　高36）

大学4年間を京都で過ごし、就職を機に東京へ。以来、あっという間に時が過ぎ、8年前には編集プロダクションを立ち上げて、育児や教育、食や健康に関する書籍の企画・制作を手がける日々です。

私が社会人になったのは「男女雇用機会均等法」の成立から2年目。面接で「結婚したら仕事はどうしますか？」と当たり前のように聞かれた時代です。待遇こそ男女同じでしたが、働く気満々の女性社員の扱いに会社は手をこまねいていました。「結婚後も続けます」そう断言した私ですが、3年目、結婚を機に転職。飛び込んだのが出版の世界です。やりがいをもって働き続けられる仕事を望んでの選択でしたが、育児と家事と締め切りに追われる日々は過酷で、逃げ出したくなることもありました。やり続けられたのは、たくさんのご縁のおかげです。

在京同窓会 36 回幹事（後列左から２人目）

5年前から在京同窓会誌『稲穂』の編集に参加し、昨年は高36回の仲間と在京同窓会の幹事を務めました。東京で「飯田高校」を通したご縁が広がり嬉しく感じています。先の見えない今ですが、これからもご縁を大切に歩んでいきます。

筆者紹介

同志社大学文学部英文学科卒業。大手水産会社勤務を経て編集者に。編集プロダクション経営。東京都在住。

我が師の恩 ⑮

故　田中　太七　先生

国語　在職　昭和36年4月～51年3月

田中　太七　先生

精一杯でした。その後、母より、一週間程先生の家に預けられ、寝泊まりして稲刈りなどを手伝いました。

先生は、陸軍航空士官学校から、敗戦により、東京高等師範学校に入りなおされ、高校教員になられました。本校へ着任する前は、飯田風越高校で教えられていたそうです。

柿の木より転落され、車椅子生活になられても、阿智高校で元気に教壇に立たれ、車椅子で飛び回られる程、お元気でした。

同級会の折、入院中の市田の病院にお見舞いに伺いました。足が壊疽してしまったと、何時もの様子で元気でおっしゃっていました。

先生、有難うございました。御冥福をお祈りいたします。

伊藤　昭吉（高16）

優しく、物静かな先生でした。

私が高校3年のとき、校内で問題が起き、全く身に覚えのないことの首謀者にされました。相手の生徒の担任に詰め寄っていると、あの物静かな田中先生が「伊藤、止めろ」と、強い口調で、止めに入ってきました。何も弁明しない私に代わり、先生は他の生徒達から事情を聴き回り、職員会で「伊藤はそんなことをする生徒ではない。伊藤を退学にするなら、私も教師を辞める」とまで言い、私を信じてくれました。嬉しかったが、「先生にも、女房、子供が在るだろう」と嘯くのが

支部からの発信

母校を想う

上伊那南部支部

我が支部「赤石会」活動は、例にもれず、無情の時の流れの悪戯（いたずら）に晒されて、コロナ惨禍の喧噪いきれる渦中に翻弄されて頓挫している。残念至極の極みです。高坂保元支部長（中45）を筆頭に、役員、会員一同、一意専心邁進しています。

ここで紙幅上、元よりそしりは、免れないと思うが、小生個人ステージへと、一筆啓上させてもらいます。

小生、支部長に推されて5年余経った。よもや、二度と母校の土を踏む事は無いと思っていたが、同窓会役員会等で臨席を余儀なしをされる立場になり、勢いボロ車で上郷の北条の信号を右折して、段丘の坂を登る。車中で、「ああこの坂だったのか」と思う事しきり。小生は高13であるが、同期の親友、座光寺の北原豊雄君が居た。「北原」は、自転車通学だった。当時未だバンカラ気風の名残（なごり）の腰に手拭をぶら下げてた。途中の「坂」が堪（たま）えると云った。偶さか下校時に会うと「北原、坂で手拭を落とすなよ」と「あばよ」の意味を込めた。これがその坂だったのだ。往時を偲び、たぎる哀切の情が琴線を揺する。母校と坂の因縁の話である。

小松　茂郁（高13）

小松さんの水彩風景画

コロナ禍にあっても…

下條支部

コロナ感染は未だ先が見えない状況ではあるが、支部活動を何とかできないものかと模索した結果、2年ぶりではあったが、昨年12月5日に感染症対策に万全を期し、支部総会を村内で行った。18人の参加で、久しぶりに盛り上がった。

２年ぶりの下條支部総会出席の会員たち

冒頭、物故者の黙祷の後、校歌斉唱。役員改選は、新支部長に牧島光彦氏（高13）を選任した。続いて、中島貞男氏（高26）の「新型コロナウイルス」講演があり、ウイルスの生存期間や感染経路と対策、第5波での日本と外国の違い等有益な話を聞けた。

さて下條村のコロナ対策ですが…予防対策と経済対策で令和2年度と3年度で、予算ベースで10億円余。うち村単独でプレミアム商品券や村民一人3万円の生活応援給付金や2万円の商品券配布、観光・飲食店への給付金等支援を、4年度も4月現在で約1億1千万円のコロナ対策を進めている。

コロナとの共存も視野に入れて、今年も支部活動は何ができるか、できるところから始めていきたいと思うこの頃です。

宮島　俊明（高22）

時代と共に

暁峯会　下久堅支部

私の在校時代は、日本が高度成長を迎える前の変動期でした。

昭和36年6月末の豪雨災害のため、学校は一週間程休校、地域の人達と災害復旧活動をしました。その前、34年には、学校近くの内山煙火工場の爆発事故。夜間の70キロ強歩大会等は、記憶に残る時代的な行事でした。35年には、60年安保闘争の中で、生徒会が飯田市街地のデモ行進。

昭和34年度の緑ヶ丘中学校の統合は、今も影響しています。爾来63年、少子化と中学・高校の通学区再編の波は、今後もまだ進むでしょう。更に大学進学者と就職者の地域外転出。過疎化が進み、同窓会支部組織は、どこでも苦労しているのではないでしょうか。他事ながら、今の緑中生徒数は360人程度、地域比率は松尾58％、竜丘29％。下久堅の出身者は13％くらい、時には下久堅の飯田高校生が不在になる学年もあるとか。

下久堅支部では、役員の毎年交代制とし、年一度の支部総会と、コロナ禍の中でも有志が集まって、懇親会を行う等の工夫をしています。

平沢　豊（高14）

コロナ禍でのマスク姿の総会

女性も参加する支部活動に

松尾支部

松尾支部では毎年2月に総会を行ってきましたが、コロナ禍で開催できませんでした。

例年総会では議事に続いて講演が行われ、諸先輩のユニークな活動（と言うより人生そのもの）を興奮して聴き入りました。北城節雄氏（高2）の「飯田高校山岳班OBによるヒマラヤ登頂について」、別の年には伊澤宏爾氏（高12）の「カンボジア・スタディツアー」。直接ご本人からお聞きすることは、本当に貴重な体験でした。

また、当支部では各地区から女性役員が選出されます。私も初めて参加しましたが、知らない方ばかりの会で、松尾についての新しい知識を得ることもできました。しかし、女性が支部活動に参加しづらい原因にも思い当たりました。女性の多くはその地区で生まれ育ったのではなく、幼なじみもいず、郷友会も共に体験していません。

男女の生徒数が半々にまでなった現在、新しい形を求め、地区のつながりを生む場として考えていくことで、女性会員も支部活動にもっと参加していく流れが生まれるのではないでしょうか。

玉置　すみ子（高20）

松尾支部総会（2020年２月）　牧野光朗飯田市長（当時）と湯澤一道ラグビー班監督（同）の講演を伺う

歓迎コンパで始まり　竜丘郷友会

懐かしの郷友会⑫

思い起こせば50数年前のこととなりました。入学式を控えた3月末にそれがありました。

歓迎コンパをするとの連絡で、小学校のグラウンドに集合し、先輩の蹴るラグビーボールの追いかけっこから始まりました。集会所へ移ってからは、長い正座のなかで先輩から諸々の訓示を受け、胡椒のしっかり入ったカレーライスを頂戴して終わりました。

通学に学生帽は必須で、学ラン高下駄で電車通学でした。

何回かコンパを重ねると段々距離が近くなり、コンパが楽しい物になっていきました。

必ず校歌、応援歌、寮歌を歌いましたが、三高の「琵琶湖周航の歌」は何か大人の世界を垣間見るようで、今でも大好きな歌となりました。

我々が3年生になる頃は少しずつ「バンカラモード」が薄くなりつつあり、歓迎コンパも「しごき」とか「お説教」は少なくなっていったと思います。

多くの先輩がこの地を離れているので、当時の思い出話ができる方は少ないですが、支部活動が通常に戻る日を楽しみにしています。

小林　伸（高21）

郷友会のコンパを思い出し熱唱する竜丘支部の会員たち

シリーズ　支部めぐり人⑪

遠山支部
前澤　憲道（高19）

「梨元ていしゃば」に復活させた「遠山森林鉄道」機関車と前澤さん（右）たち

問１　同窓会報は読まれますか。また高校生活の思い出は

同年生の記事を読むと自分も頑張ろうとの気持ちがします。遠山郷は今でこそバス通学ができますが昔は下宿生活でした。親元を離れ心細かったですが自由でした。破れ学帽をかぶり下駄を履いて学校へ行きましたが、格好いい気がしました。バンカラな気風がありました。

問２　「夢をつなごう遠山森林鉄道の会」会長としての活動は

遠山郷は南アルプスの麓、木材資源が豊富なところです。「遠山森林鉄道」が昭和15年から総延長30.5kmまで建設され、昭和35年頃が最盛期でしたが、外国材や自動車便に押され、昭和48年に森林鉄道の使命を終えました。平成23年に「夢をつなごう遠山森林鉄道の会」を立ち上げ「梨元ていしゃば」にレールを350m敷き機関車を復活させ運行、「旧木沢小学校」に資料館を置いています。「遠山森林鉄道」には５つの手掘りトンネルと沈下橋など３つの橋の遺構が残っており、林鉄資料と共に平成29年林業遺産に認定されました。遠山郷、飯田市、国の財産として発信し、林鉄保存活動が地域の活性化につながれば良いと考えます。

問３　支部活動についての感想は

以前に遠山支部で親睦を深めましたが、機会があれば参加したいです。

支部総会一覧

３年11月～４年３月

11. 13　在京同窓会
12.　5　下條
3. 19　鼎

学年だより

『輝く夕陽』

松本　敬司（高2）

去年90歳。春東京、秋飯田で続けてきた同期会は新型コロナウイルス禍の集会自粛延長により開けず、「会えず語れずの閉塞感から抜け出そう、健在を知らせ合おう」と賀節の記念文集『輝く夕陽第五集・卒寿書簡集』を刊行した。呼びかけは10月より。呼応可能と目された66人へ3回。寄稿者36人59稿255頁の新刊は新年早々に配布できた。

医療の擁護に支えられる中で100歳時代の長寿を目指す気力、体調の確かな様子が伝わる近況に追憶、随想が並び、同期会の会話では伝わらない経年の健康状態、医療体験、病魔対処策を知る。

付録に収めた時空の彼方70余年前の情景記から高校時代の何を思い出せただろうか。

わが同期会の『輝く夕陽・記念文集』第一集は65歳寄稿者67人。第二集70歳57人、第三集77歳77人、第四集88歳40人から寄せられた長短気儘な随筆を楽しみながら、同期の仲間たちの卒業後の変遷を知るのに役立った。

第三集以後は①印刷原版②仕上げの装丁2工程を高齢無職の幹事有志が手掛ける所謂「手作り」にしたので「丸投げ出版」（＊）に比べて製作費は半減し出版祝い金が残った。

◎僭越だが、これらの経験から後輩諸君へ伝えたい。「記念文集作りは大仕事ではない」と。

＊印刷と製本工程は外注。

同窓会、校友会、飯田市立中央図書館へ寄贈済み。第五集入手希望者には謹呈します。

伊那北高との交歓会

小林　邦彦（高13）

いまから約60年前に飯田高校と伊那北高校との間で生徒同士の交歓会が開かれた（両校を隔年相互訪問し第4回まで）。両校の貴重な交流の歴史を紹介したい。

交歓会の企画は、昭和32年ごろに伊那北高校から提起された。当時の生徒会執行部が、生徒会活動やクラブ活動の低調なことや、受験勉強に追われる生活に疑問を持ち、他校の同年の生徒と触れ合うことで切磋琢磨しようと飯田高校に呼び掛け、両校の協議も続けられていた。飯田高校の生徒会執行部（昭和34年夏～35年夏）でも、長野県の南端で「井の中の蛙」でよいのかという問題意識もあり、実現の運びとなった。

第1回は昭和35年（1960）7月16日㈯。飯高生はバス10台を連ねて文化祭（ペン祭）期間中の伊那に向かい、校門に続く坂道で伊那北高生の出迎えを受けた。開会式（全員集会）では、飯高生の校歌斉唱が力強く、伊那北高生に強烈な印象を与えたようだ。

運動部は親善試合、文科系サークルは研究発表や討論会などをし、夕方にはフォークダンスも行われたことが、スナップ写真に残る。現状のまま流されていくことに疑問を持ち、変えていこうと努力した当時の高校生の心意気を大切に思う。

原稿をまとめるにあたり資料を提供してくれた両校の同窓諸氏に深謝する。

伊那北高校35年度卒業アルバムより

短歌三首

宮嶋　實行（高14）

寅年だ強い気持ちで早起きを散歩もしようかやはり無理かな

若き頃夜を徹して賀状書き今は印刷心届くや

還暦を迎える子らに便りするまるで同年喜寿過ぎのわれ

校歌物語㉘　―青藍先生伝聞録―

信州の大関誕生は227年ぶりの快挙です。御嶽海関の母校上松小学校第一校歌は青藍先生の作です。また、日義の木曽義仲旗揚げ祭り（らっぽしょ）で歌われる先生作の「朝日将軍」は、120年余も歌い継がれています。私は2回この祭りに紛れ込んで、青藍先生を偲び♪朝日将軍義仲公は♪と歌いながら行進しました。

先生は明治7年（1874）に伊那市山寺に誕生。長野師範に学び、木曽の小学校で教鞭をとり、東京高等師範と東京帝国大に学ぶ。この間、『木曽唱歌』等を出版。卒業して飯田中へ。井出茂太先生と校歌を作りました。飯田中から松本女子師範、最後は京都師範でした。昭和23年2月18日逝去、行年75歳。

奥様は安曇野の大庄屋山口家から嫁いだ國子さん。奥様の生家に近い蟻ヶ崎に墓地を選んだ。霊園入口から道沿い約15㍍右奥が福澤家の墓地。命日のお参りは叶いませんでしたが、残雪の冬晴れの日、墓前に香を焚き献歌♪赤石山は巍々として♪と声張り上げ歌ってきました。

福澤青藍家墓標
（松本市蟻ヶ崎霊園）

上伊那農業の校歌は青藍・茂太両先生の作です。上伊那農と伊那北の校長を勤められた岩崎靖先生から青藍家のことをお聞きしました。

先生の次男光世さんは兵役を経て東京藝術大作曲科卒、伊那中の校歌を作曲。三男雅彦さんは教員をされ京都少年少女合唱団の創設者です。その御子息秀哉さんは京都大学教授（生命学研究科長・農学博士）として活躍されています。

中島　正韶（高11）

おらが同期の自慢ばなし㉓

～同窓会総会当番学年～　小池　永利（高25）

平成の終わりごろ、同窓会総会担当が学年ごと順番で回ってくるとの話があり、その年が令和3年の総会であることがわかりました。

ちょうど令和元年に同年会を開催する予定で進んでいたので、同年会の折に実行委員会を組織し、総会を盛り上げるため早くから準備をしようと動き出しました。

実行委員は、各クラスで選出し全員で31名の実行委員が選出されました。まずは、見学と令和元年の高23回生当番の総会を実行委員10名ほど参加し、総会の様子と当番の役割を確認しました。その後、翌年もう一度、一年先輩当番の総会を見れば様子はわかると考えていました。

ところがコロナの感染拡大、結果として一年先輩の24回生の皆さんの当番は一年延期、参加人数を制限して、懇親会無しと大変残念なこととなってしまいました。

さて、一年延期となった私たちの番がやってきます。

昨年の定期総会で25回生に当番引継

今年こそ通常の総会となり、懇親会も行われ終了後の同年会を盛大に開催する予定で進めてきましたが、またしてもコロナの影響で総会は人数制限、懇親会無しの開催となってしまいました。何のために2年前から準備をしてきたのか残念でなりません。

しかし、お手伝いするからには精一杯総会をもり立てていきたいと考えています。

班と私⑮

声を出せ！腰を落とせ！

女子ソフトボール班　松野　美保（旧姓 田中・高35）

女子ソフトボール班は、北原裕文先生、吉田栄二先生、初代キャプテンである毛利さんが中心となって立ち上げられ、私が入った年で3年目、当時はまだ同好会でした。その後班に昇格することができたのですが、活動費も少なく、ユニフォームを新調するため、夏休みにペンションでアルバイトをした思い出もあります。先輩方が心広く接していただいたおかげで、学年の区別なくとても和やかな雰囲気の班でした。

監督である北原先生・吉田先生は、初心者ばかりの私たちをとても熱心に、様々な工夫をしながら指導してくださり、先輩方のひたむきな練習ぶりにも心動かされました。

そんな活動が実を結び、3期目の私たちが3年生の年には県大会でベスト4に入り、同期の大林さんと私は、県上位のチームから選抜された国体選手団に入ることができました。

燃えるような暑い日、手の悴む寒い日もありましたが、日焼けすることも土に塗れることも厭わずボールを追い、班室では仲間とお弁当を食べ笑い合いました。気恥ずかしい言葉ではありますが、まさに青春の日々として私の土台となっています。その後、北原先生が若くしてお亡くなりになったことは悲しく辛いことでした。「声を出せ！腰を落とせ！」先生の声が今でも蘇ります。

前列中央右が北原先生
左が吉田先生、右端が私

学園だより

ラグビー班花園報告

ラグビー班は、昨年12月に東大阪市の花園ラグビー場で開催された第101回全国高校ラグビーフットボール大会に、2年ぶり10回目の出場をしました。

28日の1回戦で、富山第一高校と対戦。得意とするFWのモールでトライを重ね、31対8で勝利しました。30日の2回戦では、東京都の目黒学院高校と対戦。留学生2人を擁する相手に対し、一時攻め込む場面もありましたが、0対38で敗れました。選手たちの果敢なプレーは見ている人に感動を与えてくれました。

ぶつかり合う闘志（花園1回戦）
撮影者：鶴川俊樹（高22）

御礼

ラグビー班監督　小林　克（高65）

日頃より、ラグビー班に対しまして、御支援御協力いただきありがとうございます。限られた人数の中で、選手たちは実力を出し切ってくれました。コロナ禍ということもあり、会場へ応援に来られなかった多くの方々へも選手たちの必死なプレーで感謝を届けられたと感じています。

パブリックビューイング

花園へ届け！飯田から声援！

教頭　牧内　千明（高36）

コロナ禍のため、花園ラグビー場への入場制限（1チーム60名）もあり、28日初戦の富山第一戦は「エスバード」にて、30日2回戦の目黒学院戦は「飯田高校小体育館」にてパブリックビューイングを開催。100名を超える本校生・教職員、同窓生、地元ラグビーファンが集まって拍手や小旗を振りながら応援をしました。

飯田高校でのパブリックビューイング（花園2回戦）

今回の花園出場にあたり、全国の同窓生の皆様から約2070万円の協賛金を頂きました。厚くお礼申し上げます。

空手班

北信越大会出場

私たちは11月に行われた北信越新人大会の女子団体形、女子個人形に出場しました。全国大会を目指して挑みましたが、結果はどちらも予選敗退という悔しい結果となりました。この大会を通じ、自分たちの実力不足を実感し、多くの課題を見つけることができました。次の目標であるインターハイに向けて、さらに練習を重ねます。

2年　原田　栞里

北信越新人大会

新生徒会長挨拶

佐藤　峻

私は誰もが気軽に参加できる飯田高校自治会をつくり、活動の輪を地域に広げていくことを目指します。

コロナ禍という先の見えない状況の中、今までの活動の踏襲にとどまることなく、今年だからこそ出来たと言えるような自治会づくりに取り組みます。

何より私たちの住む地元地域を知る、ということは、これからより広い世界に進んでいく私たちにとって大切かつ必要なことです。

私自身中学生までは地域と関わる機会が多かったですが、高校生になってそれが希薄になってしまっていると感じています。これからは、地元地域の方々との関わりの中から、高校生の感覚を生かして、何か地域にも還元できるようなことを実践していきます。

歴史と伝統ある我が校、生徒にも、そして地域にも開かれた飯田高校自治会を目指して、活動に取り組んでいきます。

女子バスケットボール班

班紹介

女子バスケットボール班は、選手11人マネージャー3人の計14人で活動しています。県大会出場を目標として練習に励み、バスケを楽しんでいます。思うように練習できない中、1回1回の練習を大切にチームや個人のスキルアップができるように頑張っています。

主将　内山　寧彩

仲良し女バスの集い

ギター班

ギター班は毎日放課後に集まり、みんなで楽しくギターを弾いています。活動はとても自由なもので自分の弾きたい曲をそれぞれのペースで練習しています。今年度は多くの場所で発表をさせていただきました。来年度も、演奏技術の向上を目指し活動していきたいと思います。

飯田中央公園での演奏発表

班長　清水　その

ソフトテニス班

ソフトテニス班は、男女合わせて8人で外部コーチの指導のもと、活動しています。事情で入班は厳しいけれど、大会で人数が足りない時に参戦してくれる助っ人も何人かいます。今はコロナの影響でまともな活動が出来ていませんが、感染収束を願い、日々練習に励んでいます。

常に基礎を忘れない練習メニュー

班長　坂巻　譲太

棋道班

棋道班では、毎週月曜日、水曜日、金曜日を活動日として定めていて、長い時は18時くらいまで将棋を指しています。コロナ禍であった今年は、特に感染対策には力を入れていて、対局を終えた際には、駒一つ一つを消毒し、盤も消毒します。班員は、コロナ禍でも楽しく将棋について語り合いながら活動をしています。

対局風景

班長　松下　朋暉

2022年度入試　大学等合格者数一覧（3月31日現在　進路室把握分）

学校名	現	卒	学校名	現	卒	学校名	現	卒	学校名	現	卒
北見工業	1		国際医療福祉	1		東京理科	8	1	南山	10	
北海道教育	1		高崎健康福祉	1		東洋	24	2	日本福祉	8	
東北	1		埼玉医科		1	日本体育	2		人間環境	1	
秋田	1		埼玉工業		2	日本	12	4	藤田医科	5	
茨城	1		城西	2		日本社会事業	1		名城	15	1
筑波	2		日本工業	1		日本女子	1		皇學館	1	
埼玉	2		文教	3		法政	16	2	四日市	2	
千葉	2		和洋女子	1		星薬科	1		長浜バイオ	2	
東京学芸	1		青山学院	4	1	武蔵	1		京都産業	1	3
東京農工	2		亜細亜	1		武蔵野	15		京都女子	3	
横浜国立	4	2	桜美林	7		武蔵野美術	2		京都橘	2	
新潟	2		大妻女子	2		明治	7		京都美術工芸	1	
富山	5		学習院	2	1	明治学院	4		京都文教	2	
金沢	3		共立女子	1		明治薬科	1		京都薬科	4	
山梨	2		杏林	2		明星	4		同志社	14	2
信州	16	1	北里	4	1	目白	2		佛教	1	
静岡	2		慶應義塾	4	3	立教	4		龍谷	12	11
名古屋	4		工学院	1		立正	2		立命館	19	16
滋賀	1		國學院	5		早稲田	7		大阪医科薬科	1	
京都	5	1	国士舘	2		神奈川	11	1	関西	5	2
大阪	1		駒澤	7		神奈川工科	1	1	近畿	6	3
神戸	1		昭和	1		フェリス女学院	1		帝塚山学院	2	
奈良教育	1		芝浦工業	4	1	新潟医療福祉	1		関西学院	2	3
奈良女子	1		白百合女子	1		金沢工業	3	1	神戸薬科	1	
鳥取		1	順天堂	2		北陸	1		兵庫医科	1	
広島		1	女子美術	2		山梨学院	4		天理	2	
香川	1		成蹊	1		佐久	4		岡山理科		2
長崎	1	1	成城	4		長野保健医療	2		徳島文理		1
国立大学合計	**64**	**7**	専修	4		松本	5		**私立大学合計**	**483**	**72**
高崎経済	3		玉川	3		松本看護	2		岐阜市立女子短大	1	
埼玉県立	1		多摩美術	2		朝日	1		**公立短期大学合計**	**1**	
横浜市立	1		大東文化	6		岐阜医療科学	7		東京交通短大	1	
長岡造形	1		中央	5	5	岐阜聖徳学園	10		飯田女子短大	1	
富山県立	1		津田塾	1		中京学院	1		池坊短大	1	
福井県立	2		帝京	4		中部学院	1		**私立短期大学合計**	**3**	
都留文科	3	1	帝京科学	2		愛知	9		防衛医科大学校　看護	1	
公立諏訪東京理科	1		帝京平成	3		愛知医科	2		**文科省所管外大学校合計**	**1**	
長野	1		東海	12		愛知学院	12		ECC ビジネス＆公務員専門学校	1	
長野県看護	5		東京家政	2		愛知工業	2		信州木曽看護専門学校	2	
長野県立	4		東京家政学院	2		愛知産業	1		日本工学院専門学校	1	
岐阜薬科	1	1	東京経済	5		金城学院	4		湘央医学技術専門学校	1	
静岡文化芸術	1		東京工科	2		修文	2		**専門学校他合計**	**5**	
愛知県立	1		東京工芸	2		大同	1				
名古屋市立	2	1	東京造形	3		中京	9				
京都府立	1		東京電機	1	1	中部	11				
福知山公立	1		東京都市	1		東海学園	1				
大阪公立	2		東京農業	3		名古屋外国語	1				
兵庫県立	1		東京福祉	1		名古屋国際工科専門職	1				
県立広島	2		東京未来	1		名古屋造形	2				
高知工科	1		東京薬科	1		名古屋文理	1				
公立大学合計	**36**	**3**									
国公立大学合計	**100**	**10**									

サッカー班

サッカー班は現在、2年生8人1年生15人マネージャー4人計27人で活動しています。活動休止中はラインなどのツールも使いながら、個々でトレーニングしてきました。改めてサッカーができることに感謝し、また昨年以上に結果にこだわって、より高いレベルを目指してやっていきます。

班長　横前　結斗

第2グラウンドにて

美術班

美術班では指定の活動日はなく、制作したいとき、絵を描きたい時など自由に美術室で活動しています。コロナ禍での活動では、合同制作はできませんでしたが各々が作品作りに取り組んでいます。来年度は校内展示や、展覧会で成果を残せるように精進します。

班長　押部　真成

作品制作の様子

寄贈品の紹介

【書　籍】

- 「強い使命感と情熱に集い50年　―誇り高く、次なる飛躍へ―」HOSPY50周年記念誌 …… 太田和宏（高11）
- 「孫に伝える日本近代史の流れ（追補）」 …… 清水敏夫（高　4）
- 「夢　限りなく［私と天恵製菓の歩み］」 …… 片桐　裕
- 「信州学大全」「長野県百科事典」ほか …… 久保田篤（高24）
- 「輝く夕陽 第五集」高２回・中48回同期会 …… 松本敬司（高　2）
- 「飯田高等学校　北海道同窓会誌」近況報告文集 …… 浜島　泉（高10）
- 「認知症に備える」 …… 中澤まゆみ（高19）
- 「QUICK生理学・解剖学　人体の構造と機能・病態生理」 …… 池田正明（高28）

会員からのお便り

◆同窓会報第86号4面に「リニアの光と影」という記事があり、私の実家の上郷飯沼の変貌のことに触れておりますので、書きたくなりました。ここに書かれています通り、伊那谷を豊かにする努力をしてゆかなければならないと思います。自然とか人間とか、地方の歴史や文化をふまえたものを育て、発信することが重要かと思います。東京と名古屋の中間駅ができたというだけでなく、ここが重要な文化の発信地となることを期待しています。

筒井　健雄（高6）

◆昨年は高齢者叙勲で双光瑞宝章をいただきました。これも皆様のおかげと感謝しております。高4回でひとりだけかと思い、お便りしました。

西澤　洌（高4）

会員計報

〔中回生〕

32	竹内　紀一	H24・12・10
37	関口　又次	1・7・1
38	中平　晃司	H4・9・1
39	塚田　公夫	3・11・27
40	三石　茂	H28・12・4
41	玉置　勤	3・7・20
41	三村　博康	3・8・10
42	小池　茂彦	4・2・2
43	木下　昭平	3・1・18
43	中島　彰三	3・9・5
44	青木　政明	3・10・10
44	伊藤　昭	3・9・28
44	大原　昭彦	3・12・4
44	北原　洲平	3・12・23
46	福澤　英美	2・12・11
47	加山　文男	3・2・10
47	澤柳　喜一	3・11・17

〔併回生〕

1	古井　直人	4・2・25

〔高回生〕

2	伊藤　幸男	1・12・5
2	北原　恒扶	3・7・18
2	栗崎　豁男	3・12・20
2	佐々木寛治	3・4・11
2	長井　直彦	3・10・13
2	野村　俊一	2・4・28
2	原田　政雄	3・10・19
2	松田　弘	3・10・22
2	樋口　信夫	3・7・20
2	松田　翔	3・9・28
3	井上　清繁	3・11・4
3	篠田　龍谷	3・9・13
3	田中　住男	3・5・2
3	宮内　榮治	3・2・9
3	米山　護	4・2・23
4	上原　健治	3・7・26
4	奥野　禎一	3・3・22
4	河田　公介	3・2・15
4	川手　勤	3・11・27
4	熊谷富士男	4・1・16
4	小林　郁夫H31	3・3・13
5	石井　徳昌	4・2・14
5	久保田　實	3・12・22
5	黒河内孝彦	4・1・11
5	佐々木幸彦	3・11・25
5	武村　信	3・10・11
5	中田　鉄弥	1・9・30
5	松澤　秀人	3・11・13
5	吉川　侑男	3・9・15
6	今泉　健一	3・9・7
6	今村　理則	4・3・16
6	片桐　勝彦	2・9・8
6	桐原　義和	3・2・12
6	久保田きみ子	3・7・22
6	中村　文雄	3・12・6
6	堀口　照夫	4・2・28
6	松重　良夫	3・9・10
7	佐々木　豊	3・8・8
7	原　貞雄	3・7・25
7	藪下　喜好	3・4・11
9	木下　祐治	3・12・25
9	藤本準之助	4・1・1
9	宮下　繁	3・10・18
10	片桐　澄雄H30	1・9
10	長沼　石根	3・10・6
10	中村　敬彦	4・3・19
10	森　敏	3・5・22
11	久保田　裕	3・12・1
11	島岡　和行	3・10・18
12	前沢　隆志	2・12・7
12	松尾　照宗	3・10・16
12	丸山　浩	3・5・15
12	吉川　元紹	2・12・20
13	伊藤　勝治	4・2・7
13	河原　襄	4・3・14
13	代田　文保	3・5・30
14	石田　仲一	3・9・27
15	筒井　健次	3・8・4
15	窪田　資子	3・10・20
16	桐生　義人	3・11・1
16	鋤柄　照子	4・1・15
16	髙田　建男	3・2・4
16	中島　正博	4・1・25
17	木下　和典	3・3・7
17	清田　延彦	4・1・29
17	田口　稔	3・6・12
17	細澤　清	3・10・16
17	牧内　誠	4・2・12
18	清水　理	2・4・4
18	松下　修二	4・2・3
19	田中　洋佐	3・1・18
20	牧内　伸吾	2・10・20
20	山岸　正裕	4・2・3
21	矢崎　俊昭	3・9・24
22	中村　昌義	3・12・1
22	湯本　久司	3・10・1
23	舛田　隆司	3・9・23
24	原　洋子	3・12・17
24	遠山　克典	2・9・4
24	牧内　正雄	3・12・5
31	清澤まどか	3・12・13
32	宮下美也子	4・1・22
34	松本　誠司	3・10・15
42	熊谷　貴之H30	5・23

会員名簿の電子データ運用開始

新規会員名簿発刊の廃止に伴って、会員名簿の電子データの運用を今年8月から開始します。

同窓会ホームページが閲覧窓口となり、自分個人の情報のみ閲覧できます。その情報を自分で書き換えることも可能となります。そこで、閲覧するためには保護されたIDとパスワードが必要となります。その申請は、メールや電話で同窓会事務局へお願いします。

当然ながら電子化した個人情報の扱いは、同窓会プライバシーポリシーに則って、保護管理します。

また、電子データだけでなく電話や印刷文書（有料）でも対応します。事務局へ連絡ください。（詳細：下段参照）

大きな変更となりますが、ご理解とご協力をお願いします。

（会員名簿作成委員会）

1

個人情報保護の観点から会員名簿発刊頒布は廃止しました

2

会員名簿データの運用を2022年8月から開始します

個人情報については、飯田高校同窓会のプライバシーポリシーに基づき管理しています。

会員名簿データが必要な方は事務局申請が必要です

使用目的を申告していただき認められた場合のみ事務局が提供します。

会員名簿はデータ（PDF等）で提供します。

※申請は同窓会ホームページか電話でお問い合わせください。

会員個人の情報変更方法が増えます

①同窓会事務局にお電話いただく（従来）
②会員情報変更ハガキを送っていただく（従来）
③同窓会ホームページから会員管理サービスにログインして自分で変更する（新）

※ログイン情報はホームページか電話で事務局にお問い合わせください。

本事業は令和2年5月8日の常任役員会で審議、承認を受けて実施しています
お問合せ先　飯田高校同窓会事務局　TEL 0265-23-2650　E-Mail ikdj@iikou-d.jp

事務局より

会費の納入等に銀行振込を利用する場合は、お名前と一緒に個人番号の入力をお願いします。個人番号は、宛名の下に記載の6桁の数字です。

飯田高校教育振興基金

教育振興基金賛助金
68,227円
（令和3年10月1日～令和4年3月31日）
赤石ゴルフクラブ
高10回　木下俊佐

令和3年度下期支援金

高松塾補助	300,000円
進路指導補助	100,000円
理数科学力向上支援	100,000円
飯田高校HP保守費用	66,000円

飯田高校教育振興基金振込口座名

◎ゆうちょ銀行
名義「飯田高校教育振興基金」
口座番号 00500-4-33149
他金融機関からの振込口座名義飯田高校教育振興基金店番059　当座口座番号0033149を入れてください。

◎飯田信用金庫上郷支店
名義「飯田高校教育振興基金管理運営委員会」
口座番号　普通　3617183

◎八十二銀行上郷支店
名義「飯田高校教育振興基金管理運営委員会」
口座番号　普通　117302

正門整備基金

正門整備基金賛助金
1,000,000円
（令和3年10月1日～令和4年3月31日）
匿　名

◎正門整備基金振込口座名
八十二銀行上郷支店
名義「長野県飯田高等学校同窓会正門整備基金」
口座番号　普通　206360

＊このほか同窓生数名から、同窓会への寄付をいただきました。ありがとうございました。

編集を終えて

2面でお読みいただきましたように、同窓会維持の収支が窮地にあります。母校や在校生への協力を維持していくためにも会費納入をお願いいたします。次の第88号は4ページになりますが、引き続きご愛読をお願いいたします。

（宇佐美）

編集委員

委員長　平沢　忠明　高17
副委員長　宇佐美庸子　高18
委員　北原　和子　高16
小林　敏雄　高18
小椋　泰一　高19
金澤　佳昭　高21
鈴木　桂子　高21
新海登美子　高23
小林　敏昭　高26
中原　直子　高28
佐々木公美子　高37
篠田　和久　高44
遠山　昂希　高62
事務局　市岡　登　高22
大澤　聖美　高44

仲間をつなごう 仲間とひらこう

在京飯田高校同窓会（首都圏支部）

［東京 神奈川 千葉 埼玉 茨城 栃木 群馬 山梨］

飯田弁も飛びかっとるに♪

ここにくれば、東京のふるさとに会える！

在京飯田高校同窓会ホームページ

在京同窓会活動紹介、各種イベント紹介、・無料相談（法律／医療／パソコン）、同好会活動（たかまつ会）他情報満載！

→zaikyoiida.hp@gmail.com

広報部会

同窓生の交流・文化活動の紹介、郷土・母校の最新情報を配信中。登録希望者はこちらへ。

→ zaikyoiida.info@iikou-d.jp

［稲穂］編集委員会

在京同窓会誌（A5 100頁）を毎秋発行、在京同窓生に配布。在京同窓生以外の購読も可。執筆者も募集！

→ zaikyoiida.tosui@gmail.com

在京飯田高校同窓会定期総会 担当学年幹事 高37回・高47回

2022年11月12日（土）

飯田高校一六会

百歳まで喜寿・傘寿・米寿・卒寿・白寿

やりたいことは山ほどある

そう急ぐな 慌てるな

コロナにも歳にも負けず　元気で頑張ろう

代表　市瀬武彦

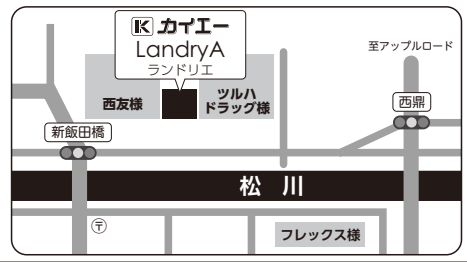
ファッションクリエイター
コインランドリー　婦人服専門店

カイエー

［西鼎・新飯田橋・西友となり］Tel.52-2410

営業時間／AM10:00～PM7:00

市瀬英明（高19回）



富士不動産コンサルティング

〒395-0801 長野県飯田市鼎中平2378番地3

不動産鑑定士 奥村節夫（高19）

TEL 0265(23)5187
FAX 0265(22)9839
E-mail : st20-kmr@nifty.com

いいだ動物病院 かなえ

院長　菅沼 隆（高22）

飯田市鼎名古熊2615-4　TEL.53-4662

動物取扱業販売・保管　05011851号、05010652号

取扱責任者　谷口豊幸

いいだ動物病院 いがら

院長　今村 直子

飯田市中村392-1　TEL.32-1315

動物取扱業保管　05004952号

取扱責任者　今村 直子

すえひろ動物病院

院長 竹下明彦（高22）

諏訪市末広5-14
☎ 0266-75-1217

祝 令和４年度 同窓会総会開催

同窓会総会当番
高25回卒業 学年代表
小池永利（上郷飯沼）

祝 同窓会総会開催

高25回 学年副
奥村　和徳

祝 同窓会総会開催

高25回 学年会計
北方区長 加藤修平

♥いい街・いい人・いい暮らし・いきいきキラヤ♥

スーパーチェーン キラヤ

上飯田店	☎52-2330
黒田店	☎52-1811
鼎店	☎52-3800
伊賀良店	☎25-3300
竜丘店	☎26-8000
大島店	☎36-4433
高森店	☎34-2500
ピア店	☎43-2028

代表取締役社長 赤羽宏文（高25）

太田秀哉法律事務所
OTAHIDEYA LAW OFFICE

弁護士
太田秀哉（高25）

〒104-0031　東京都中央区京橋2丁目12番9号
ACN京橋ビル802
電　話：03-6228-6638（代表）
ﾌｧｯｸｽ：03-6228-6075
E-mail：ota@os-lawoffice.com
http://os-lawoffice.com

CAFE-REST SENJU

飯田市常盤町17
TEL 0265(22)1010

大竹玲子（高25）

大竹祐介（高51）

小澤接骨院

鍼灸・接骨・スポーツトレーナー

小澤雄司（高25）

松川町元大島1651-2
TEL 0265(36)6050　Fax 0265(36)6441

区内町御用達

LPガス・灯油・お米・肥料
住宅設備機器・リフォーム
ライフアップ かとう　(有)加藤商店

飯田市桐林1735-1　TEL 0265-26-6088

社会医療法人健和会 健和会病院

日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医
日本認知症学会専門医・指導医

医学博士 北原正和（高25）

〒395-8522　飯田市鼎中平1936
TEL 0265-23-3116　FAX 0265-23-3129

総合 Creative

Build 仲田

代表 仲田　耕治（高25）

宅地建物取引業　彫刻家 南信美術会　会員
信州美術会　会員

長野県知事(2)第5424号
事務所　長野県下伊那郡喬木村3759
☎：0265-33-4060　090-8813-0765

作品収蔵庫 天静苑

令和4年4月中旬 open

人も地球も健康に
Yakult

創始者、医学博士 代田 稔（飯田市竜丘出身、1918年旧制飯田中学卒）が生み出したヤクルトは、現在世界40の国と地域で、毎日4,000万本以上愛飲されています。

南信ヤクルト販売株式会社

代表取締役社長 吉野伸彦（高25）
飯田営業所長 山口慎介（高44）

本　社　松本市野溝木工1-3-34　TEL.0263-26-8960
飯田営業所　飯田市松尾上溝3101　TEL.0265-22-2200
伊北営業所　箕輪町中箕輪1849　TEL.0265-79-8380

原 久 税理士事務所

税理士 原　久（高25回）

〒395-0025　飯田市東中央通5丁目59番地1
テラス YSR2階
TEL(0265)21-1233　FAX(0265)21-1232

御食事処

満津田

飯田市主税町一番地
電話（0265）22-0437

康野整形外科リウマチクリニック

整形外科・リウマチ科
日本整形外科学会整形外科専門医
日本リウマチ学会リウマチ専門医　医院長　康野公則
日本スポーツ協会スポーツドクター
飯田市松尾上溝3152－4　飯田卸売市場東
TEL 0265-52-3535　FAX 0265-52-3538

内科

中島医院

中島貞男（高26回）

下條村陽皐2731　TEL0260-27-3577

当館の明治の写真を探しています

D.SASAKI SHINSHU IYEDA 明治期当館で撮影の写真台紙です。2024年に創業150年を迎え 当館の明治の写真を探しています。昭和60年以来の重ね重ねですが今一度所蔵をお確かめ頂きご一報下さい。佐々木写真館 0265-22-0567火定休

飯田市主税町28　www.sasakiphoto.com

下田一則税理士事務所

税理士 下田一則（高27）

〒395-0084　飯田市鈴加町2-2-1
TEL（0265）23-3554　FAX（0265）22-9105

信州まし野ワイン株式会社

代表取締役 宮沢喜好（高27）

ライラック農園

代表 宮沢喜一（高56）

〒399-3304 長野県下伊那郡松川町大島3272
TEL 0265(36)3013　Fax 0265(36)5599

かみさと耳鼻咽喉科
KAMISATO Ear, Nose and Throat Clinic

院長 中島淳治（高43）
事務長 佐々木武史（高43）

飯田市上郷飯沼779
TEL（0265）52－3933（サンキューミミ）

飯田化成株式会社

代表取締役 落合　鉄太加（高44）

〒395-0821 飯田市松尾新井7234番地
電話 0265-23-3606　FAX 0265-53-1030

お祭り用品の事なら何でもお任せ下さい

ハッピ・腹掛・股引・足袋・踊り衣装
小道具・名入れ商品・タオル・タスキ
応援旗・ノボリ旗・日の丸・Tシャツ
ユニホーム・腕章・のれん

祭

本田貴久（高63）
本田裕也（高65）

通り町 片桐屋呉服店

〒395-0043　飯田市通り町1-7　［年中無休］9:00～19:00
お気軽にお問合せ下さい　TEL.0265-22-0889　FAX.0265-22-1123
ホームページからも注文できます！▶http://katagiriya.jp

地域の皆さまの健康へのお手伝い
ひさわ薬局

薬剤師
中村哲也（高48）
Tetsuya Nakamura

〒399-2102
長野県下伊那郡下條村陽皐2006-3
（ショッピングひさわさん横）
TEL.0260-27-1330
FAX.0260-27-1332

有限会社 丸治下平商店

代表取締役 下平泰三（高52）

〒399-3202　長野県下伊那郡豊丘村神稲7251-1
TEL/FAX　0265-35-5313

無料相談実施中！もうちょっとだけお金に余裕が欲しい方へ

株式投資教えます！

個別セミナー講師 鎌倉真一（高56）

〒395-0806　飯田市鼎上山1835-4
TEL：080-7335-6297

このページはどなたでも応募できる同窓生交流の場です。奮ってご参加を！